

道東の魅力を新発見 新しい旅を最高の思い出に… ～つながる魅力、つなぐ思い出～

阪南大学国際観光学部

井上佑太 佐古健太 世木杏佳 山本真由美 安田知弘
高田有規子 田中慎也 森下恭生 山本名桜 大谷航太 立住空

- ・観光とは一般に「**楽しみのための旅行**」である

楽しみ

体験

ふれあい

学び

見る

感動

観光において **ヒトとヒト**
ヒトとモノ が **つながる** 場面がある

どのような場面で？

ホテルや旅館において



お土産を買う



食事をする





旅行を通して家族の
絆が深まる



体験を通して地域の人と
交流する

観光 Ⅱ つながり



写真を通して思い出が
よみがえる



地元の食材を通して
地域と関わる

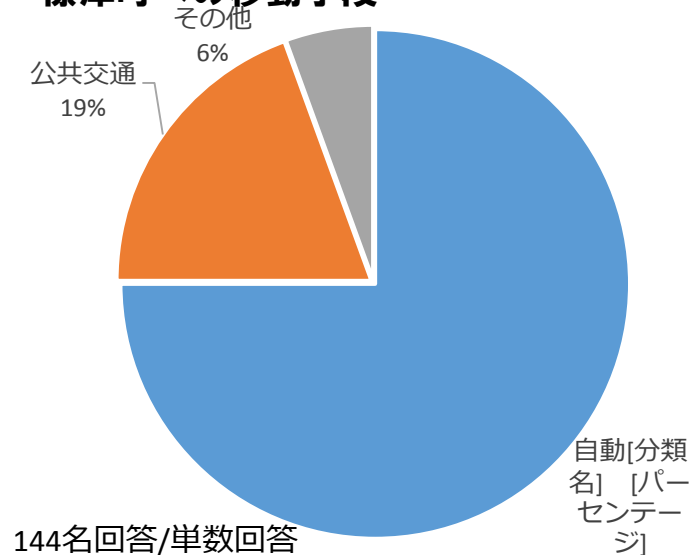
これまでの私達の標津町での活動

私達は5年前から標津町で観光振興に向けた提案を行ってきた。
町内の飲食店全てに足を運び情報誌「美味しべつ」を作成したり、
観光ガイドへの聞き取り調査を行うなど常に人・モノとの「**つながり**」を意識して活動してきた。



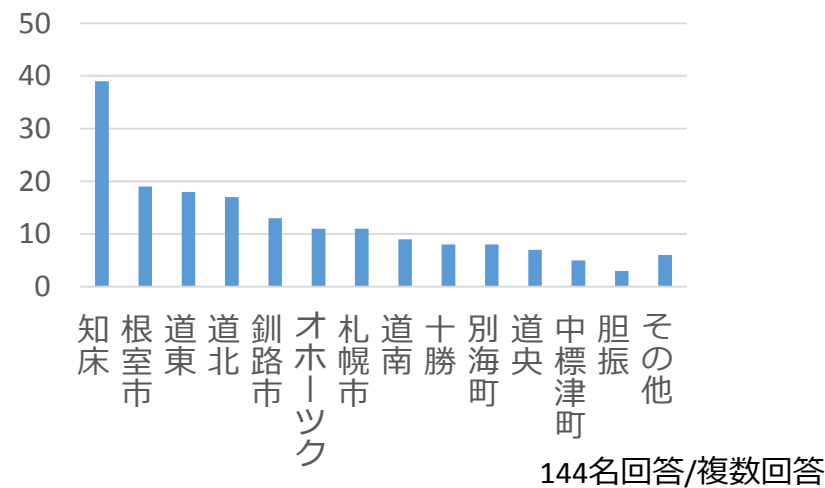
アンケート調査から見える道東の現状

標津町への移動手段



自動車・バイク移動が大半を占める

標津町以外に訪れた場所



広域で周遊する観光客が多い

自動車で移動する観光客が多く、行動範囲が広くなる傾向がある

ドライブ調査の実施

【調査日】

2018年9月3日（月）

【調査方法】

3グループ（釧路・阿寒・知床）に分かれ、実際に自動車を走らせ調査を行った。

【目的】

知床や阿寒・摩周、釧路を訪れた観光客が観光地を移動する際に、それぞれの市町村を通過することで、その土地の魅力を知りつつ、道東の観光客の周遊を促すことである。



調査によりわかったこと

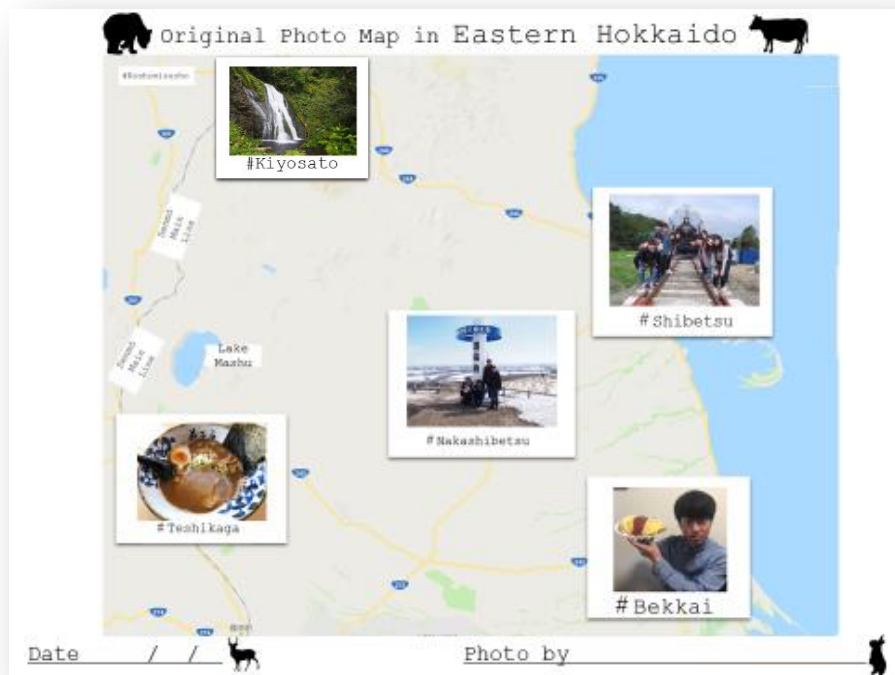
観光地間の移動時間が長い

風景があまり変わらない



マップを活用した提案

2つのマップの提案



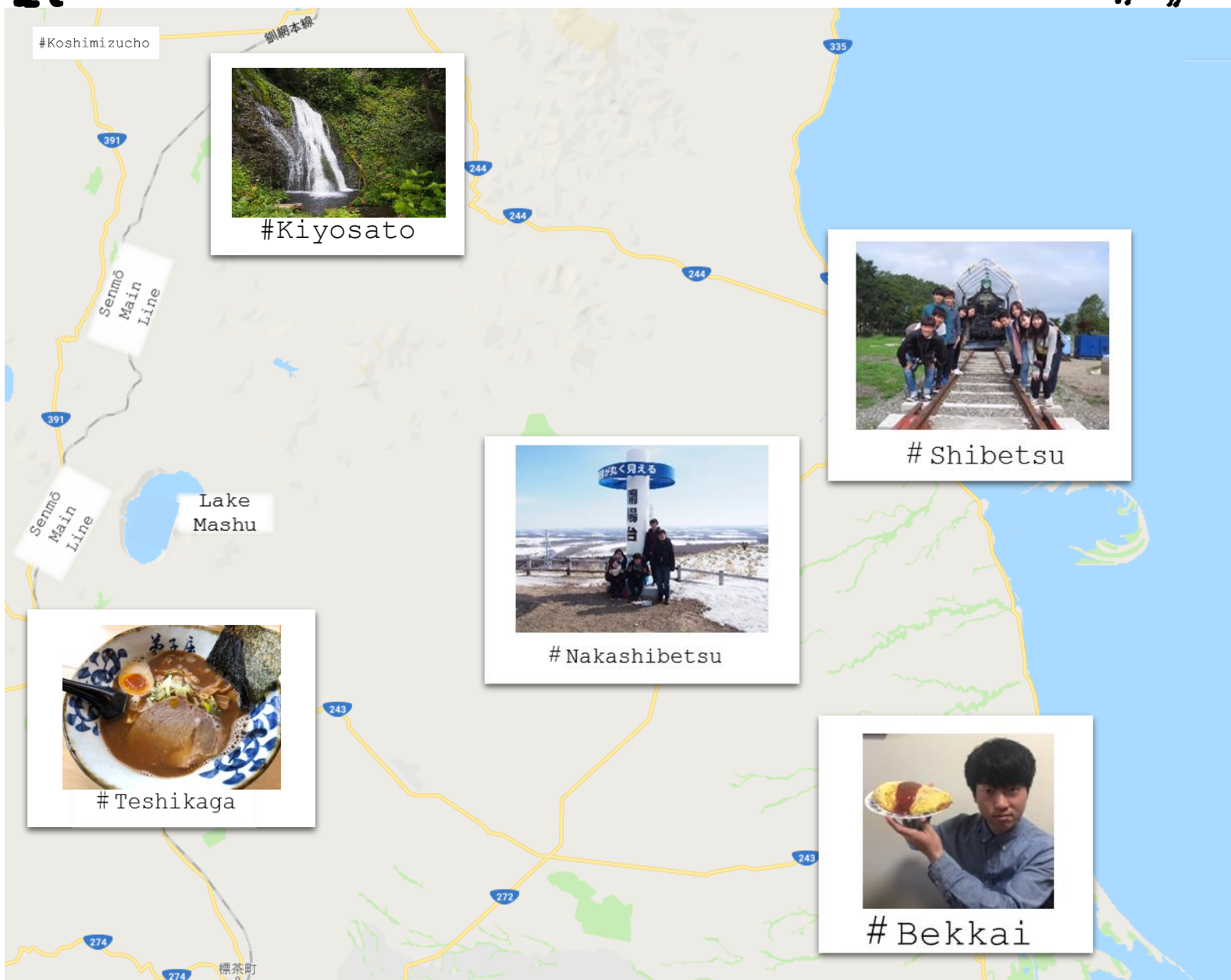
オリジナルフォトマップ



パズルマップ



Original Photo Map in Eastern Hokkaido



Date / /



Photo by

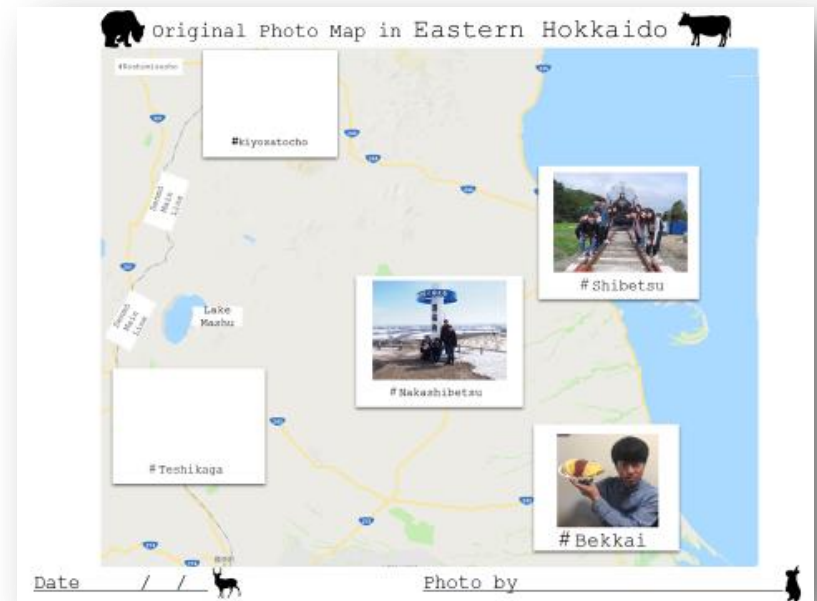
オリジナルフォトマップ提案

オリジナルフォトマップの入手方法

- ・ 空港、レンタカー、道の駅などにQRコードを設置し、携帯電話で読み込む

オリジナルフォトマップの使い方

- ・ 道東マップ上に**写真挿入スペース**
- ・ **観光客自ら各町内で撮った写真**のお気に入りの一枚をその**スペースに挿入**



オリジナルフォトマップ提案

- 既存のマップ

プロが撮った美しい
写真



万人受けするような写真。

- オリジナルマップ

実際に訪れた時に
自ら撮った写真



調査日の写真。ひまわりが下を向いていた。

訪問時のありのままを収めた写真

→ **思い出の詰まった「たった一つのマップ」に**



そうだ！！ドウトニストになろう



道東の市町村名標識を集めて
道東のスペシャリスト
ドウトニストになろう！

多摩島

歯舞群島

納沙布岬

パズルマップの提案

パズルの入手方法

台紙は空港、レンタカー店、道の駅で配布し、パズルピースは観光施設に置いてもらう

パズルマップの使い方

実際に訪れたエリアで入手したパズルのピースを台紙の該当するエリアに組み込む
ピースの配布場所を回することで、各市町村の魅力を満喫しながらパズルを完成させる



2種類のマップのメリット

オリジナルフォトマップのメリット



- 写真をマップに落とし込むことで、写真と写真の間の道中の思い出がよみがえる

パズルマップのメリット



- 子どもでも親しみやすく、道路標識を利用するため、町をイメージしやすい
- 訪れた場所の記憶が明確になる

2種類のマップのメリット

マップを活用する共通のメリット

パズルのピース収集・マップ完成のための写真撮影



周遊を促進させる

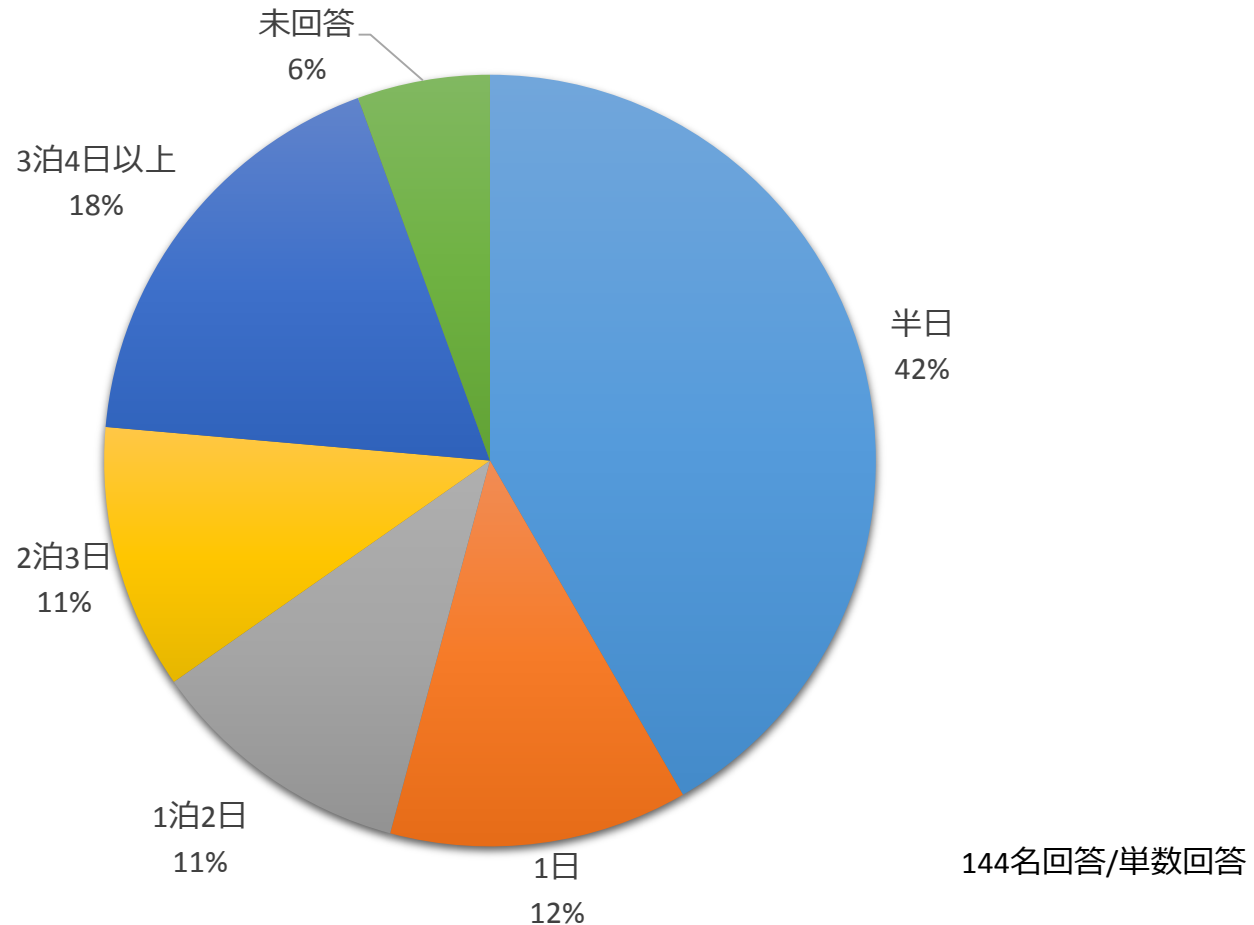
1度で全部集めきることができないため、
再度訪問して続きを集める



リピーター増加

標津町の観光の現状

滞在日数



観光客の滞在日数は**半日から1日**が大半を占めている



デジタルフォトフレームの提案



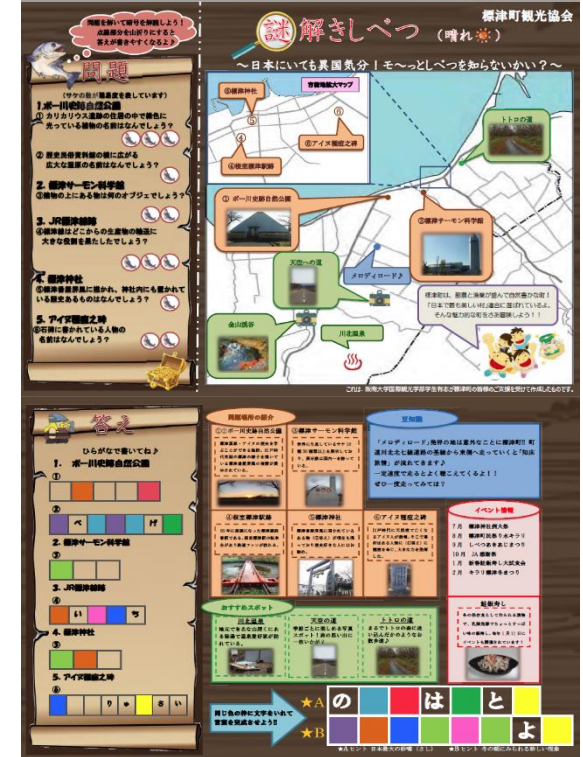
標津町観光協会

これは、函南大学国際観光学部学生有志が標津町の皆様のご支援を受けて作成したものです。

お食事マップ



サイクリングマップ



謎解きマップ

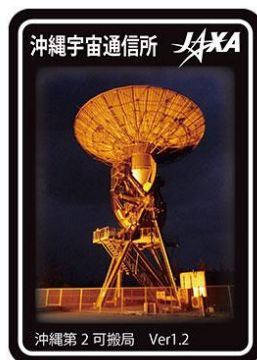
標津町の魅力を発信するために、
これまでさまざまな提案を行ってきた

最近、流行している観光

公共配布カードのコレクションを目的とする旅が流行している。



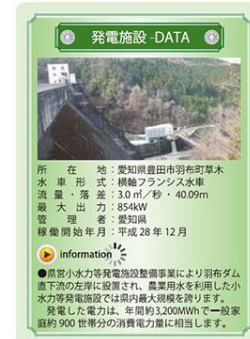
ジオカード



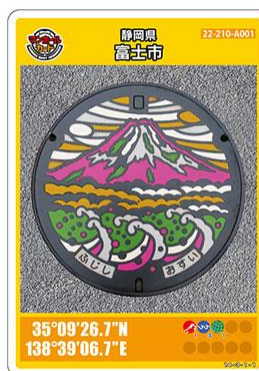
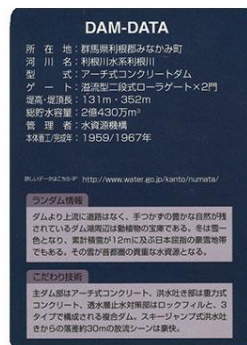
アンテナカード



小水力発電所カード



ダムカード



マンホールカード



港カード

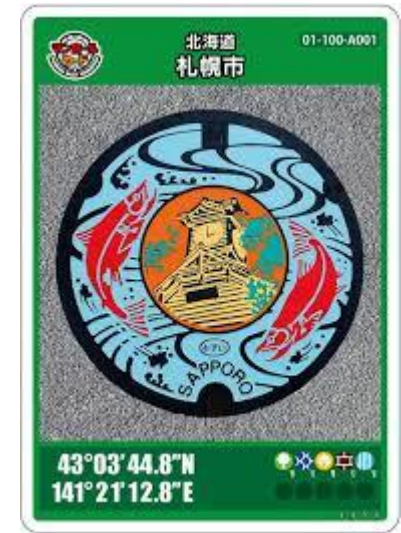


デジタルフォトフレームの提案

マンホールカードの事例

マンホールカードとは

- ・マンホールカードは全国の国土交通省や自治体などの団体「下水広報プラットフォーム」から無料配布されているカード
- ・2016年から始まり、シリーズ化され現在、累計478種・407自治体が参加している
- ・2年間の配布数は全国で約180万枚



- ・カードは発行元の自治体に足を運ばないと入手できない
- ・各地の特色があり、収集意欲をくすぐる

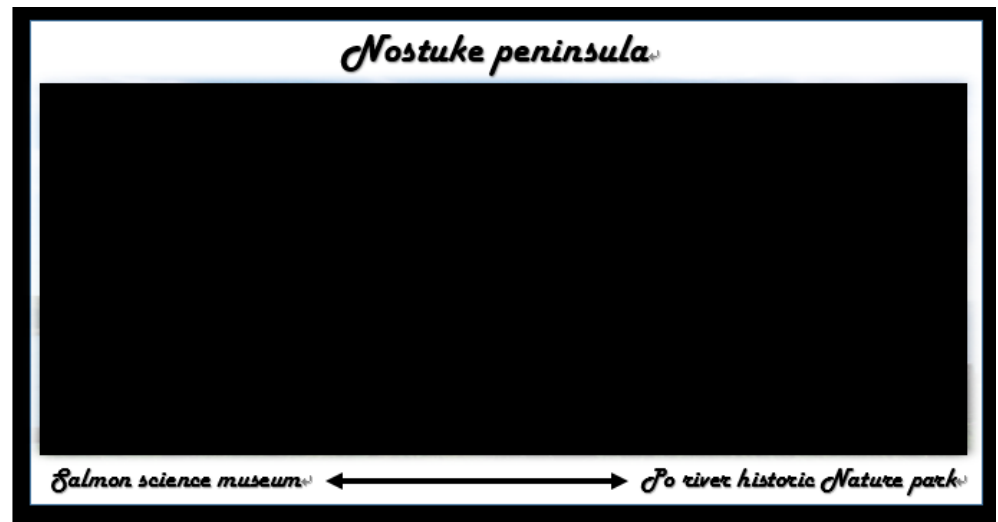
その地域を訪れる
きっかけとなる

カードを集めるために「北海道を出て10日目。次はフェリーで九州に渡る。」という人もいる

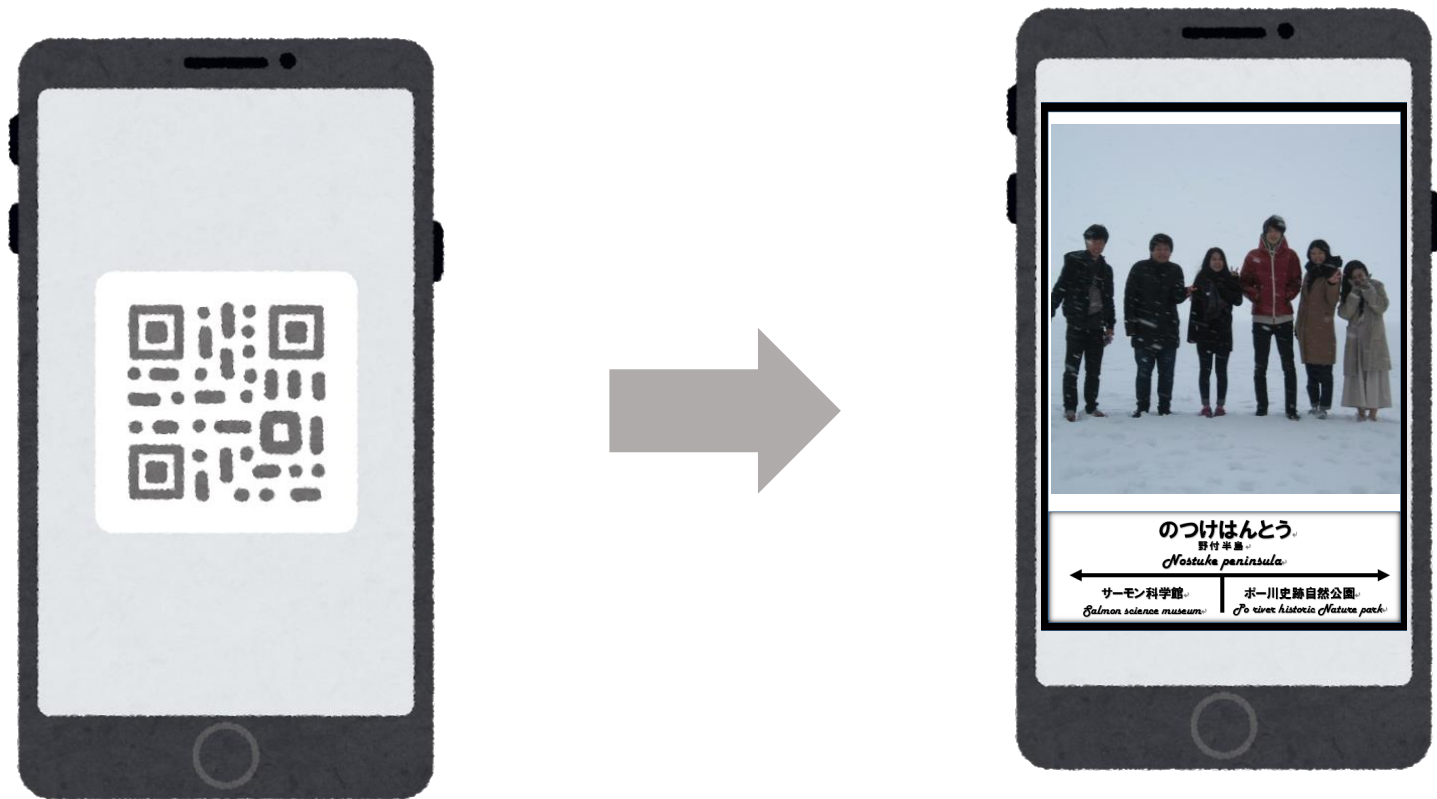
デジタルフォトフレームの提案



- もともと標津線が走っていて、その歴史がよみがえるという意味を込めて、駅名看板をモチーフとする
- 近年増加している外国人観光客にもわかるよう英語表記にする



デジタルフォトフレームの提案



野付半島に設置した看板のQRコードを読み込む

デジタルフォトフレームの提案

マップを活用するメリット

- ・もともとの観光資源に新たな楽しみを加える
- ・フォトフレームを使って写真を撮ることで、特別感が増す

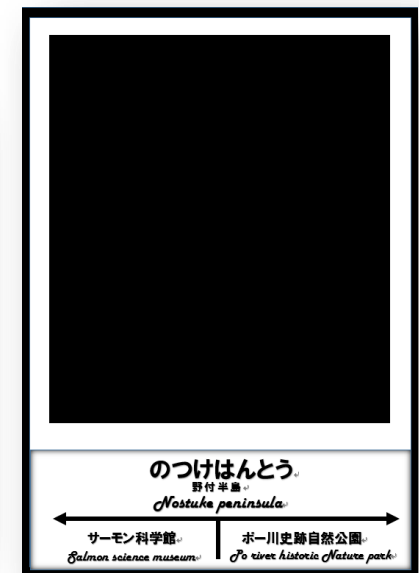


私たちの提案（まとめ）

写真撮影やパズル集め、フォトフレーム利用のため各地を巡る



集められなかった分や撮影できなかった分、再度道東に訪れてもらう機会を創出し、リピーター客が増加する



“つながる魅力、つなぐ思い出”



よく知られている観光地以外にも訪れること
でたくさんの魅力発見につながり
道東全体の観光促進につながる

A group of approximately ten students, both male and female, are posing on a railway track. They are arranged in two rows, with some standing and others crouching or kneeling. In the background, a black steam locomotive with the number 'CW224' on its front is visible, partially covered by a transparent plastic sheet. The locomotive is on the tracks, which lead towards the viewer. The surrounding area is grassy with some trees in the distance under a cloudy sky. The students are dressed in casual clothing like jeans, hoodies, and t-shirts. Some are holding cameras, suggesting they are participating in a photography or field trip activity.

今年度も標津町の皆様のご支援をいただき、
たくさんの学びの機会をいただきました。
心より感謝申し上げます

ご清聴ありがとうございました